

# よろこび

聖徒のための情報誌

### 今月号の内容

新聞智雄会長のご挨拶(1面)  
よろこびちゃんの質問箱(2面)  
新年のご挨拶(3・4面)  
法華経のお話・よろこび佛教語解説・日蓮大聖人の歩まれた道(5面)  
よろこび法話(6面)

平成25年(2013年)1月1日(火)

## 1月号

発行所  
〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町3-25-11  
九段中央ビル702  
日蓮宗霊断師会九段事務所  
電話 03-6272-9340  
FAX 03-6272-9341

### 日蓮宗霊断師会

会長 新聞 智雄  
編集人 松本 恵昌  
購読料 1部 105円  
毎月1回1日発行

日蓮宗霊断師会ホームページ  
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp  
よろこび投稿メール  
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

## 新年の御挨拶と 会の抱負

日蓮宗霊断師会

会長 新聞 智雄



新年明けましておめでとうございます。今年も御協力の程、宜しくお願い致します。

扱、会が分かれて今年で三年になります。色々たいへんなことありますが、今年も真面目に事業を進めていきたいと覚悟しております。同時に常に皆様にも訴え、ご協力をお願いしております。人材養成への願ひであります。今年も何としてでも、そのことについて、本部一丸となつて取り組んでいかなければならないと思つております。

どんな国であつても、組織であつても、後進の人達の養成をおろそかにして良いわけがありません。子供が大人になるのです。小さい時から教育していかなければなりません。御経・教学・霊断法の勉強、説教は、僧侶としての振舞であります。人と人との機会をとらえて、適切に勉強させ、手を添えて行けば立派に育つものであります。ありがたいことに現在、当会には優秀なる霊断師が居ります。この人達の力を信じて沙弥校、僧風林、養成講習会等々、是非実行していきたく計画しております。時間を掛けて辛抱強くおこなつていく所存であります。

宗門を想い、会の発展を願ひ、弟子の教育を志す方は、是非子弟を講習会にお出し頂きたいと念じております。具体的な日時はその都度ご案内致します。会が不遇の時、何をさて措いても教育です。教育は直ちに効果は現われませんが、後にその



結果は如実に現われてまいります。どうぞ皆様、新年にあたり宜しくご協力の程お願い致します。

日蓮宗霊断師会

総局長 建

光行



春の初めの御悦び

「春の初めの御悦び、木に花の咲くが如く、山に草の生出づるが如しと我も人も悦び入り候」

(春初御消息)

新春のお慶びを申し上げます。この祖文は、身延山で新年を迎えられた日蓮大聖人様の庵室へ、駿河国(今の静岡県)のご信者・上野殿から米一俵、塩一俵、芋一俵、蒸餅三十枚の御供養の品が届けられた折の御礼状です。

往昔の身延山は、冬には三メートルの雪が積もり、誰も訪れる人もなく、「衣は薄く、食は絶えたり」と、庵室は食料不足の状況でした。そのような中に届けられた尊いご供養に大聖人様は、

「あなたのお供養は多くの法華経の行者を養ひ、私も命を永らえました。また春が来て、あなたに逢えると思ふと嬉しくてたまりません」と、心からなるお手紙を送られたのでした。

「春の初めの御悦び」とは、蘇生(よみがえる)する悦びです。春の訪れを待つ木々の中に花が隠れているように、実は私達の身にもまた、美しい花が隠れているのです。それは佛性という美しく、尊い花です。その事に気付く絶好のチャンスが、「春の初めの御悦び」なのです。

去年は政治の楯取りへの不安、また、各地に襲来した集中豪雨被害等、

憂鬱な思いの多い年でした。そんな時、京都大学の山中伸弥教授が「細胞の開発でノーベル医学・生理学賞」を受賞され、国民は挙つて爽快な気分になりました。

その山中先生が或るインタビューの中で、「ノーベル賞は日の丸が頂いた。この賞は私の研究室に初めから加わっていた三人で貰つたようなものです。」と、すがすがしく胸を打つお話をしておられました。常に患者さんの気持ちに寄り添う先生は、皮膚病組織の提供を申し出た十四歳の難病患者さんが言った「ボクの病気が神様がくれた宿題」との言葉に感銘され、この言葉を心に刻み、社会に貢献できるような努力すると語られました。

正に大曼陀羅御本尊列座の葉王菩薩(医療を司る菩薩)が変化の人となり、素晴らしい花を咲かせたのであります。

信心とは自分の身の内にある花に気付くことです。本年も共に『南無妙法蓮華経』の信仰生活を全うして、人生を好転させて参りましょう。

日蓮宗霊断師会

総合研究所長 齊藤 朋久



平成二十五年の新春を迎え、皆様おめでとうございます。

日蓮大聖人のみ教えの根本は、祈り、悟り、行の「南無妙法蓮華経」三大秘法の実践による、地上浄土の建設、人類皆共の幸福の実現にあります。日蓮大聖人は、御題目によるこの地上浄土の実現を、「立正安国論」に次のようにお説きになられておられます。

「あなたは間違つた信仰を捨てて、ただちに真実の教えである法華経に帰依しなさい。そうするならば、この世界はそのままの国となりません。仏の国は決して衰えることはありません。十方の世界はそのまま浄土となりません。浄土は決して災害にあつたり、破壊されることはありません。国が衰えることなく、世界が平和で破壊されなければ、我が身は

安全であり、心は平和でありましょう。この言葉は真実です。信じなければなりません、崇めなければなりません。」

この『南無妙法蓮華経』の信仰は、御本仏を祈り、御本仏の心に帰り、御本仏の行いをする、凡仏一体の生命を生きていくことであり、それは御本仏の偉大な「立正安国」の霊的理想的灯火を我々が心に掲げて生きてゆく事でもあります。御本仏と共に生きる事によつてこそ、地上浄土は実現するのです。それは生命、魂、霊性のルネッサンス(復興)ともいえるでしょう。

釈尊は、この地震や災害の絶えない娑婆世界を「諸行無常」と達観されましたが、しかし、そのような無常の世界であればこそ、「立正安国」の霊的理想を掲げて生きることに、私たちが、常住不滅の永遠の生命の実感を得ることができるとです。人生には家族と共に生きる喜び、賞賛、栄誉の獲得のような様々な喜びがある反面、友と別れる悲しみ、いられ無き誹謗中傷、乗り越えねばならない障害等の数々の試練があります。しかし、それらの試練は、単に避けるべきものではなく、信仰を堅固に鍛え上げ、私たちの霊性を高め、真の幸福に到達する為にあるのです。

私たちの信仰が試され、霊性、慈悲の心が鍛えられていくのです。俱生神は御題目の理想に生きる皆様を守り、育て、導いてくださいます。今年も「俱生神月守」を着帯し、御題目を唱え、それぞれの理想の実現に向かって精進して参りましょう。

### 日蓮宗霊断師会第四十八回 全国結集身延大会について

健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、本年五月十一、十二日の両日にかけて開催される第四十八回全国結集身延大会。この大会は、創祖行道院日蓮聖人以来、数多の先師先聖、聖徒の皆様のご強情の信仰により受け継がれてきた大会であり、当会の根幹をなすものでもあります。昨年末の開催日決定以来、一人でも多くの方に参加頂ける大会を目指し、行事内容の検討も含め、準備を進めております。どうぞ皆様お誘い合わせの上、ご参加下さいませ。詳細につきましては各寺院のご住職にお尋ね下さい。

**津軽宇田山 閻法寺**

1月16日 午前9時半より  
「正月御本尊祭」  
毎月 最終日曜日「盛運祈願会」

〒030-1403  
青森県東津軽郡外ヶ浜町平舘元宇田52-2  
TEL 0174-25-2712

住職 工藤 堯幸  
副住職 工藤 堯慎・修徒 工藤 堯顯

**日蓮宗 東光山妙正寺 聖徒団**

妙正寺聖徒団 吉原 剛

1月1日(火) 午前0時 元朝参り  
1月6日(日) 午前11時 年籠り  
毎月1日午前10時 盛運祈願会

妙正寺聖徒団 団長 関 龍雄  
〒071-1423  
北海道東川郡東川町2丁目6-3  
TEL 0166(82)2714  
FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび

美濃乃國  
常唱寺 聖徒団

〒501-3734  
岐阜県美濃市千畝町2738-2  
TEL/FAX 0575(33)1430

**妙顯寺**

本山 佐野 日蓮大聖人御真骨奉安

齊藤日軌貫首著  
「日蓮宗の戒壇、その現代的意義」  
国書刊行会

CD「感謝百万遍陀羅尼」  
CD「ないないブルース」

好評発売中!

〒327-0843  
栃木県佐野市堀米町264  
TEL 0283-22-1524  
FAX 0283-22-4194  
http://www.sano-myoukenji.jp

**日蓮宗霊断師会会長  
感通寺聖徒団団長  
新聞 智雄**

〒162-0044  
東京都新宿区喜久井町39  
TEL 03-3209-8782  
FAX 03-3208-7966

# ローカルニュース

〔愛知・名古屋〕

## 『第三回ハート感謝の集い』を開催！

昨年十月二十一日(日)、名古屋市長のハート鍼灸接骨院に於いて『第三回ハート感謝の集い』が開催され、同市本成寺聖徒団・天野行淳(本部組織局長)が法話に出講した。

患者さんへの心のケアの一助となる活動を目指し、同鍼灸院長と天野団長が企画したこの催しも今回で三回目を迎え、開催を待ちわびた約五十名の方が集まった。

『感謝の集い』は午後二時、自らの



天野行淳団長(本部組織局長)

信仰体験を織り交ぜながらの天野団長の法話で始まり、「皆ひとりひとり仏としての自覚を持ち、互いが尊い」との思いを持って生活することが大切である」と諭されると会場内は穏やかな空気となり、心温まるお話に皆優しい表情で耳を傾けていた。

また、法話終了後には、「剣ミュージックオフィス」の中村誠司さんによるリサイクルも開催され、昭和歌謡を中心に、アンコールではオリジナルソングも披露され、会場内は盛り上がりを見せた。

全日程の終了後、接骨院のスタッフが来場者ひとりひとりを笑顔で見送る姿がとても印象的な催しであった。今後とも地域が一つとなつて、人を元気にしたいと思ふ願いが形となつたこの催しに、更なる注目をしていきたい。

伊藤秀温通信員



## よろこびちゃんの質問箱



よろこびちゃん

絵馬って何？

【合格祈願！】の季節だけど・・・、なぜ『馬の絵』を奉納するのかしら？

そういえば・・・日本では、おかし、神様が馬に乗って人間の世界に降りてきた、・・・という伝説があった、自分たちの『ご先祖さま』も、馬に乗って【この世】に帰ってくる信じられているわね。

それで【お盆】の時、精霊棚の前に『キウウリの馬』を飾るのもその名残りのわね。

生きた馬を神様に奉納する習わしは、奈良時代からあったようですが、経済的な負担が大きすぎたから、木の板に馬の絵を描いて奉納するようになった

になつていったのね。

絵馬には『受験』ばかりではなく、『良縁成就』・『家内安全』・『商売繁盛』・『病氣平癒』・『交通安全』など、様々な願い事を書いて、その願いをお題目でお腹いっぱいになった馬に乗せて仏様や神様に届けてもらうのわね。

素直な心でみんなの祈りが叶っていきますように！。



## 俱生神月守・霊断法のご案内

◆人にはみなそれぞれ「人生」という道がある。しかしその道の先はよくは見えず、地図もない。この先には大きな河が横たわっているかも知れず、大岩が障害物となつているかもしれない。人は誰もそれに気づかず「今」のみを飄々と歩く。そして河に阻まれ打ちひしがれ、大岩を前に愕然とする。◆私たち日蓮宗聖徒団には九識霊断法という秘法があります。◆これは俗に言う占いの類とは違い、日蓮大聖人のみ教えから生まれた有り難い秘法です。◆カーナビのように河や大岩など人生の中で進むべき道を阻む障害物を見通し、その迂回路を指し示し目的地へと導いてくださいます。◆人事万般なんでもご相談ください。◆また聖徒団には俱生神月守という不可思議な御守があり、河の前には橋となり、大岩の前には梯子となり、困難を乗り越える力となつて護つて下さいます。◆難病を癒す不思議な護符もあります。◆充実した人生を歩むため、最寄りの聖徒団のある寺院、教会、結社へお出かけください。

## 日蓮宗霊断師会

名誉会長 芝崎 惠璋

終身名誉顧問 佐藤 日秀

同 野澤 文立

会 長 新聞 智雄

副 会 長 末吉 頼道

同 吉田 亮善

同 大塩 孝信

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

●伝道局

伝道局長 濱田 壽教

聖徒部長 吉田 憲由

布教部長 飛鳥 玄龍

伝道局局長 瀬川 観常

同 三ヶ尻 和生

同 梅木 功健

同 志村 龍寛

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

●教宣局

教宣局長 松本 惠昌

教宣局局長 後藤 正軌

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

●総合研究所

所 長 齊藤 朋久

副 所 長 三浦 恵伸

新日蓮教学研究部長 小泉 輝泰

九識霊断法研究部長 石黒 泰良

教育部長 廣田 学良

主任(教研部) 塩入 幹丈

同 松森 孝雄

主任(霊研部) 新聞 信應

同 工藤 堯慎

主任(教育部) 蘆田 惠教

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

●指導局

指導局長 戸田 教栄

指導部長 品田 祥皓

講師部長 飯盛 義教

研修部長 蔵本 知宏

指導局局長 田平 義成

同 三浦 惠導

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

●組織局

組織局長 天野 行淳

組織部長 三木 一乘

事業部長 大森 映孝

組織局局長 阪口 映徳

同 伊藤 秀温

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

●総合研究所

所 長 齊藤 朋久

副 所 長 三浦 恵伸

新日蓮教学研究部長 小泉 輝泰

九識霊断法研究部長 石黒 泰良

教育部長 廣田 学良

主任(教研部) 塩入 幹丈

同 松森 孝雄

主任(霊研部) 新聞 信應

同 工藤 堯慎

主任(教育部) 蘆田 惠教

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

●指導局

指導局長 戸田 教栄

指導部長 品田 祥皓

講師部長 飯盛 義教

研修部長 蔵本 知宏

指導局局長 田平 義成

同 三浦 惠導

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

●組織局

# 明けましておめでとうございます

## ～日蓮宗霊断師会～

日蓮宗霊断師会会長  
感通寺聖徒团团長

**新間 智雄**

副団長

**新間 正興**

〒二六二〇〇四四  
東京都新宿区喜久井町三九  
TEL〇三三三三〇九一八七八二  
FAX〇三三三三〇八七九六六

日蓮宗霊断師会理事会議長  
日蓮宗常任布教師

**讃岐 大玄**

〒七九四〇〇一六  
愛媛県今治市中浜町四一十拾八  
TEL〇八九八二二二二二四七  
FAX〇八九八一三二一八八三九

仙寿院聖徒团团長

**芝崎 惠應**

〒二六〇〇二二二  
岩手県釜石市大只越町二一九一  
TEL〇一九三二二二二二六六  
FAX〇一九三二二二二二五〇

日蓮宗霊断師会理事  
妙福寺聖徒团团長

**野澤 壯監**

〒三三九一三三二  
栃木県さくら市馬場一〇八一  
TEL〇二八六八二二二〇二一  
FAX〇二八六八二二二二九九

日蓮宗霊断師会副会長  
利生寺聖徒团团長

**末吉 観道**

副団長

**末吉 正道**

〒九三〇〇五五五  
富山県富山市梅沢町三一六一〇  
TEL〇七六四二二一八七七六  
FAX〇七六四二二一八二五〇

日蓮宗霊断師会理事会議副議長  
圓立寺聖徒团团長

**近藤 潮賢**

〒四六六〇八四四  
愛知県名古屋市中区妙見町一〇五七  
TEL〇五二一八三二一九八二八  
FAX〇五二一八三二一九八二八

日蓮宗霊断師会制度調査委員  
青森県聞法寺聖徒団

住職 工藤 堯幸

副住職 工藤 堯慎

執事 工藤 堯光

責任総代 工藤 堯顯

信託委員 最上 一

最上 誠規

掛村 隆二

〒三〇三〇四〇三  
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元字田五三二  
TEL〇一七四二二五二二七二二  
FAX〇一七四二二五二二六〇七

日蓮宗霊断師会理事  
妙法寺聖徒团团長

**牛居 一英**

〒五四六〇〇四二  
大阪府大阪市東住吉区西今川二二一十四  
TEL〇六六七〇二二二二一四  
FAX〇六六七〇二二二二〇一〇

日蓮宗霊断師会副会長  
妙本寺福德聖徒团团長

**吉田 亮善**

〒六九一〇〇四二  
島根県出雲市十六島町二五二  
TEL〇八五三一六六〇五六八

日蓮宗霊断師会総局長  
真浄寺聖徒团团長

**建 光行**

〒八七一〇七一六  
大分県中津市山国町中摩六三一五  
TEL〇九九九一六二二七三六  
FAX兼用

被災地復旧・復興のご支援感謝申し上げます  
新年もよろしくお願ひ申し上げます  
法華寺聖徒团团長

**阿部 是秀**

副団長 **阿部 是眞**

霊断師 **菊池 妙栄**

霊断師 **前川 是調**

〒二八〇三〇三〇  
岩手県遠野市宮守町下宮守三一六九一  
TEL〇一九八二六七二二六六  
FAX〇一九八二六七二二二二七

日蓮宗霊断師会理事  
圓融寺聖徒团团長

**山口 忠信**

〒六七五二二〇二  
兵庫県加西市北条町栗田三三八  
TEL〇七九〇四二二二二一八  
FAX〇七九〇四二二〇三九七

日蓮宗霊断師会副会長  
正蓮寺聖徒团团長

**大塩 孝信**

〒二九〇〇一五二  
千葉県市原市瀬又一三四一  
TEL〇四三六二二二〇二〇七  
FAX〇四三六二二二二二八八

日蓮宗霊断師会総合研究所長  
本山妙顕寺聖徒团团長

**齊藤 日軌**

〒三七一〇八四三  
栃木県佐野市堀米町二六四  
TEL〇二八三二二二二二五二四  
FAX〇二八三二二二二二四九四

日蓮宗霊断師会常任理事  
妙正寺聖徒团团長

**関 龍雄**

〒〇七一四二二二  
北海道上川郡東川町東町二一六一三  
TEL〇一六六二二二二二二七二四  
FAX〇一六六二二二二二二九一四

長栄寺聖徒团团長

**光枝 海元**

日蓮宗霊断師会常任理事

**光枝 浩生**

〒一〇〇〇四〇二  
東京都新島村本村三一四  
TEL〇四九九二二二二二一六八  
FAX〇四九九二二二二二二〇一

日蓮宗霊断師会理事  
慶音寺聖徒团团長

**須藤 正裕**

副団長  
**須藤 充康**

〒四一九〇一〇一四  
静岡県田方郡函南町仁田一六四一  
TEL〇五五一九七八二四八九  
TEL〇五五一九七八一〇七〇一  
FAX〇五五一九七八一〇七〇一

日蓮宗霊断師会理事  
圓立寺聖徒团团長

**中村 公一**

〒五一一四一三三二  
三重県津市高野尾町四五七五  
TEL〇五九一三三〇〇五五七  
FAX兼用

日蓮宗霊断師会理事  
寿泉寺聖徒团团長

**根師 哲朗**

〒七二〇〇八三三  
広島県福山市水呑町一六一四  
TEL〇八四一九五六〇一九八  
FAX〇八四一九八二八九六七

本妙寺聖徒团团長

**村口 泰慈**

〒七九九一三三三  
愛媛県西条市国安四二  
TEL〇八九八一六六一五四〇九  
FAX〇八九八一六六一六六〇

日蓮宗霊断師会総務局局長  
顕忠寺聖徒团团長

**松尾 義隆**

〒八三五〇一五  
福岡県みやま市山川町原町一四一  
TEL〇九四四一六七〇五三三  
FAX〇九四四一六七二〇七二  
日蓮宗霊断師会総務局  
TEL〇九四四一六七二一九三〇  
FAX〇九四四一六七二一九三〇

日蓮宗霊断師会組織局局長  
本成寺聖徒团团長

**天野 行淳**

〒四六五〇〇一四  
愛知県名古屋市中東区上菅一三〇三  
TEL〇五二一七七七一七四七四  
FAX〇五二一七七七一七五七二

日蓮宗霊断師会指導局局長  
本典寺聖徒团团長

**戸田 教栄**

〒二五六〇八一六  
神奈川県小田原市酒匂三一七  
TEL〇四六五〇四七四八三三  
FAX〇四六五〇四九一三五三二

日蓮宗霊断師会伝道局局長  
常國寺聖徒团团長

**濱田 壽教**

〒七二〇〇四一一  
広島県福山市熊野町甲一四八一  
TEL〇八四一九五九一〇〇〇六  
FAX〇八四一九五九一〇二〇六

日蓮宗霊断師会教宣局局長  
**松本 惠昌**

知見会信行寺聖徒团团長  
和歌山県和歌市杭ノ瀬五六一五  
TEL・FAX〇七三三四七二一八二五二  
知見会海禪院聖徒团团長  
和歌山県和歌山市和歌浦中三二四二八  
(顕彰会事務局)  
TEL〇七三三四四七一八九〇  
FAX〇七三三四四九一九九六

東日本大震災ご支援御礼

団 長 **三浦 惠伸** (本部理事・総合研究所副所長)  
一級霊断師 **三浦 惠導** (本部指導局員)  
二級霊断師 **三浦 惠子** (総代)  
善慶寺・龍王寺 総代 **世話人 役員 一同**  
陸中山田 善慶寺聖徒団・住職 **三浦 惠伸**  
〒〇二八一三三三  
岩手県下閉伊郡山田町北浜四一  
TEL〇一九三三八二二七六五  
北上市龍王寺聖徒団・住職 **三浦 惠導**  
〒〇二四一〇五六  
岩手県北上市鬼柳町鼠川原一七五二  
TEL〇一九七七一二〇一七  
FAX〇一九七七一二二三五

日蓮宗青森県霊断師会

会 長 **笹部 一真**  
副会長 **堀江 泰誠**  
**島根県霊断師会**  
事務局 **文谷 孝順**  
会 員 **員 一同**

日蓮宗青森県霊断師会

会 長 **飛鳥 玄龍** (副会長) **工藤 泰輝**  
幹事長 **對馬 央丈** (総務担当) **川上 洋行**  
霊断担当 **工藤 堯慎** (伝道担当) **葛原 主静**  
籌備担当 **工藤 堯顯**  
通信員 **山崎 随祥** **山田 瀧仙**  
**木立 智大**  
理事 **小野 泰幹** (顧問) **工藤 堯幸**  
会員三十一名。

顧問 **吉田 海心**  
会 長 **吉田 静正**  
**宮・鹿・沖霊断師会**  
片寄 **智雄**  
**吉田 憲由**

日蓮宗霊断師会三重県支部長  
追分教会聖徒团团長

**高鍋 鳳憲**

〒五一〇〇八八二  
三重県四日市市追分二一五一二  
TEL〇五九一三四六三六七七  
FAX兼用

日蓮宗霊断師会組織局組織部長  
妙法寺聖徒团团長

**三木 一乘**

〒五〇一四一〇一  
岐阜県郡上市美並町上田二〇八四  
TEL〇五七五七九二〇五五  
FAX兼用

日蓮宗霊断師会組織局事業部長  
長榮山妙福寺聖徒団

**大森 映孝**

〒三三九一三二一  
栃木県塩谷郡高根沢町亀梨五一四  
TEL〇二八一六七六一二四七  
FAX兼用

日蓮宗霊断師会指導局指導部長  
照恵寺聖徒团团長

**品田 祥皓**

〒五五〇一〇四  
北海道沙流郡平取町柴雲古津二二二七  
TEL〇一四五七一一三二二七  
FAX〇一四五七一一三三九一

日蓮宗霊断師会指導局講師部長  
蓮正寺聖徒团团長

**飯盛 義教**

〒八七九一五五〇四  
大分県由布市挾間町下市五三三六  
TEL〇九七五八三〇五四六  
FAX〇九七五八三〇六九八

日蓮宗霊断師会指導局研修部長  
妙法寺聖徒团团長

**蔵本 知宏**

〒六九八〇〇二一  
島根県益田市幸町一一一七  
TEL〇八五六一一三三〇二六  
FAX〇八五六一一三三〇四八

日蓮宗霊断師会伝道局布教部長  
七面山道円寺(芦屋の七面様)聖徒团团長

**飛鳥 玄龍**

〒〇三八一三一一二  
青森県つがる市木造川除栄盛七  
TEL〇一七三三四二一三六四九  
FAX兼用

日蓮宗霊断師会伝道局聖徒部長  
龍雲寺聖徒团团長

**吉田 憲由**

〒八八九一三〇一  
宮城県児湯郡都農町川北三七二九  
TEL〇九八三一二五三三三五  
FAX兼用

日蓮宗霊断師会総合研究所新日蓮教学研究部長  
顕本寺聖徒团团長

**小泉 輝泰**

〒二九五〇〇〇二  
千葉県南房総市千倉川合六九〇一  
TEL〇四七〇一四四一〇六二  
FAX〇四七〇一四四一五二四

日蓮宗霊断師会総合研究所九識靈断法研究部長  
妙泉寺聖徒团团長

**石黒 泰良**

〒四六一〇〇〇五  
愛知県名古屋市中東区東桜二一六一四三  
TEL〇五二一九三一一八四九〇  
FAX〇五二一九三一一八四九一

日蓮宗霊断師会総合研究所教育部長  
妙親寺聖徒团团長

**廣田 学良**

〒八七〇〇八三三  
大分県大分市上野丘西五一五  
TEL〇九七五五五五〇七〇八  
FAX兼用

### 第十九回 日蓮大聖人の歩まれた道 出家得度のご決意(その二)



総合研究所  
教学研究部長  
小泉 輝泰

「私は法花経にみちひかれまいらせて、生死をはいかにもいてんする也。たゞし百千に一、この世のまうねんにかゝはられて、まえんともなりたる事あらは、このよのためさはりなす事あらんすらん」  
(後鳥羽院置文案文)

今回ご紹介した一節は、いつものような日蓮大聖人のお言葉ではなく、かの後鳥羽上皇が流罪先の隠岐にてしたためられたものです。このご文章は、現在大阪府島本町の水無瀬神宮に所蔵され、国の重要文化財にも指定されている大変貴重な古文書です。

後鳥羽上皇の御身の上につきましても、当初より幾度となくふれさせていただきましたが、承久の乱の咎を受け、隠岐の地へ配流となつてより早十六年の歳月が流れ、御年五十八歳(当時としては、かなりのご高齢です)の身での流人生活に、もはや精も根も尽き果て、遂には明日をも知れぬご重篤のお体となつてしまわれたのです。

そして人知れずひっそりと果て行く我が身の哀れさを嘆き、継るような思いで綴られたお言葉が、このご文章なのです。そこには後鳥羽院の切実な思いが込められていました。

「我が身は法花経(法華経)の功德に導かれて、いよいよこの世を去ることとなるが・・・」との穏やかな言葉とは裏腹に、「もはやそのような気持ちは残つておらぬが、万が一にも悪霊となつて世に障り為すようなことがあれば・・・」と、ご自身の後生に大変な恐れを抱かれる様子がかがえます。そして文末には「私が法華経を持ち続けていた功德は、いまだ我が身に残つていてあるらう。それを頼りとして申うてくれるならば、もし怨霊の身に墮ちようとも、後には必ず救われるであろう。どうかそのように供養して欲しい」との切なる願いが示されているのです。

この何とも切ない置文をしたためられた

### 第十八回 よろこび 佛教語解説



総合研究所  
霊研主任  
新聞 信應

#### 『衣裏繫珠の喩』

今年の冬は、格別な寒さが続いております。聖徒の皆様は、今年のお正月をいかに過ごすごでしょうか。くれぐれもお屠蘇の飲み過ぎには注意をしましょう。大切な事に気付かないかもしれませぬかね。

今月は『衣裏繫珠の喩』のお話です。この衣裏繫珠の喩は、法華経の八番目、五百弟子受記品の中に説かれている教えです。ある貧しい男が親友の所に出向き、酒を酌み交す内にすっかりと酔いが回り、



たのが、嘉禎三(一二三三)年八月二十五日のこと。そう、実に薬王丸が髪を下ろされるわずか二ヶ月前のことだったのです。もちろん、以前よりお話し致しました通り、日蓮さまと後鳥羽上皇のご関係は、史実としてはあくまで仮説の域を出るものではありません。まして清澄にて勉強中の薬王丸が、遠く離れた隠岐の院にお書きになった文を目にする事など、到底あり得るはずもないでしょう。

それでも、四年にわたる勉強を続け遂にご出家を決意されたそのお年と、後鳥羽院が法華経の功德に後生を託し置文に込められた、まさにこの時の奇妙なる一致に、大変な驚きを禁じ得ません。

父母への孝養を何よりも大切になされた日蓮さまのお人柄を思うとき、御年十六歳でのご出家は、このような不思議な縁によって為されたものではなからうか、そんな思いがしてならないのです。

深い眠りについてしまいました。程なくして遠方より急な知らせが入り、親友はすぐさま旅立たなくては行けなくなりました。

「おい、起きてくれ。私は急な用事で旅立たなくてはならなくなつた」そう言つていくら起こしても、男は起きません。そこで致し方なく、男に告げず出かける事としましたが、貧乏な男の助けとなればと思ひ、

襟の裏に高価で貴重な宝珠を縫い込んでいたのです。朝になり男が目覚めると、親友の姿はありません。男は一人そ



の家を後にし、また元の貧乏な生活を繰り返しながら、わずかな収入を得て満足する日々を送りました。襟の裏の贈り物には気付かず・・・。

時は過ぎ、再び親友と出会うと、襟の裏の宝珠の事を明かされます。そこで貧乏な男は、ようやくこの無量の宝珠の存在に気付く、それを得る事が出来たのです。

実は私たちの誰もが、ご本佛さまより大切な宝物を心の奥底に頂いているのです。それは「妙法蓮華経」と呼ばれる悟りの宝珠です。しかしこの譬えのように、無明の酒に酔いしれ、宝珠の所在を知らぬのが、凡夫の性というものです。そのような人達が一刻も早く大切な宝珠に気付けるよう、お手伝いをする事が私たち聖徒の大切な使命でもあるのです。どうぞ皆様も、それを今年一年の信仰目標と定め、共にお題目の道を歩んで参りましょう。

### 法華経のお話 18



総合研究所主任  
塩 入 幹 丈

#### 無量義経の段 その十七

#### 大轉輪王小轉輪王。金輪銀輪諸轉輪王。(無量義経徳行品第二)

①若者は老人が馬鹿だと推測するしかないが、老人は若者が馬鹿であることを経験で知っている

スタンフォード大学の遺伝学者によると、人類の知能の進化は二千年から六千年前にピークを迎え、以後は知的にも感情的にも劣る人間が増加しているのだそうです。

「昔はよかつた!」や「今の若いもんはなつとらん!」の嘆きは、いわば人類の歴史における定番のフレーズ。

古代アッシリア帝国(今のイラクあたりです)の石碑や、古代エジプト王朝の残したパピルス紙には、「今の若い者には困つた!」と載っているとかいいますか?。

また、あの「プラトニックラブ」の語源(本人は妻帯者ですが)にして、アトランティス大陸伝説の言い出しつべたる大哲学者プラトン(余談ながら、この方の本名はアリストクレス。実はプラトンは、レスラーをしていた若き頃のあだ名だったそうです)も、「最近の若者は、何なんだ。このままだと、世の中どうなるんだ」と、弟子たちに愚痴つていたと伝えられています。

②黄金時代が現代であったためしはそのプラトンのいたギリシアの神

話によると、人間は黄金の種族から白銀の種族、そして青銅の種族(聖戦士ですな)と続いて来たと言われます。クロノス(土星です)を長とする、古き巨神と共にいた黄金の人類たちは、皆が長命で争いもなく、神々に等しい平和な時代だったとされています(いわゆる黄金時代というわけです)。

しかし、次の白銀の種族、さらに青銅の種族と代を重ねるほどに、人類のレベルは下げ止まりがない程に落ち込んでいき、ついには主神ゼウス(木星です)の怒りを買って、白銀の種族は地の底に沈められ、また青銅の種族は洪水に飲み込まれて滅ぼされたといわれています。

その後、神々に近い英雄の時代になつて、一時的に盛り返したのも束の間、今の鋼鉄の種族は、今までの以上に墮落した人間ばかりだと、ギリシア神話は説いています。

要するに、我々も必ず滅ぼされるんだよと教えているのですね。

その後、神々に近い英雄の時代になつて、一時的に盛り返したのも束の間、今の鋼鉄の種族は、今までの以上に墮落した人間ばかりだと、ギリシア神話は説いています。

要するに、我々も必ず滅ぼされるんだよと教えているのですね。

その後、神々に近い英雄の時代になつて、一時的に盛り返したのも束の間、今の鋼鉄の種族は、今までの以上に墮落した人間ばかりだと、ギリシア神話は説いています。

要するに、我々も必ず滅ぼされるんだよと教えているのですね。



③我々の後に大洪水あれ 洪水で滅びる人類と言え、あの有名な神話、ノアの方舟を思い出す方も多いことでしょう。

最初の男女アダムとエヴァ(イブ)から増えに増えた人類は、その数に反比例するかの様に墮落の道をたどり、遂には唯一神に選ばれたノア(イスラム教ではヌーフ)の家族と、彼らが集めた雌雄ひと組の動物たちを残し、後の人類は地上の全生物ごと洪水で殲滅されたというお話です。

人類を滅ぼした後、唯一神は二度と洪水で人類を滅ぼさないと誓われ、虹を作つたと言われます(故に虹は神の証とされるそうです)。

ただしこれは、あくまでも洪水で滅ぼさないといいただけのこと、結局は天使(使徒)たちによって、世界が滅ぼされる日(審判の日)が来る

と信じているのが、熱き砂漠から興つた唯一神を崇める諸宗教の核心なのです。

そう、「世の中は悪い方に向かつていく」、あるいは「世界は滅亡に向かつていく」という考え(下降史観ともいいます)は、古代より綿々と人類が思い描いて来たことなんですね。そして我々が佛教もまた、下降史観を重視するのです。

それがお馴染みの末法万年の時代、日蓮大聖人が末法の大導師たることは御存じの通りですね。

実はその末法が始まる直前、平安の世において、ある重用な使命をもつて登場された方こそが、比叡山の伝教大師だったわけですね。はたしてその使命とは...

# よろこび法話

## お題目から始まるお正月

共によろこびを生きる



日蓮宗 日蓮宗 日蓮宗 日蓮宗  
和歌山県和歌山市妙法寺聖徒団 團長  
蘆田 恵教

今正月の始めに法華経を供養しまいらせんとをぼしめず御心は、木より花のさき、池より蓮のつぼみ、雪山のせんだんのひらけ、月の始めて出づるなるべし。

(十字御書)

新年を身延山でお迎えになられた日蓮大聖人のもとに、ご供養の品を贈られた方への、御礼のお手紙の一節です。

今年一年の始まりである正月を重んじ、祝い、御本佛さま、ご先祖さまに法華経のご供養をされる方は、枯れかかっていた木が

ら花が咲くように、濁った池に綺麗な蓮が  
つぼみをつけるように、雪山に梅檀の木が  
育つように、真つ暗な夜に月の明かりが照  
らしてくれるように、とても大きな功德を  
積むことが出来るのですよと、「供養」の尊  
さと功德をお示し下さっています。

皆さん、もうそれぞれの信仰するお寺さ  
んへの、又、お家のご佛壇の御本佛さま、  
日蓮大聖人さま、そしてご先祖さまへの新  
年のご挨拶は終わられましたか。

御本佛さまに、「南無」という自身の命を帰し、心を通わし、すべてを委ね感謝するという、お題目に絶対の信を持つという事なのです。

共によろこびを生きる

今法華経を信ずる人は幸いを万里の外よりあつむべし。影は体より生ずるもの。法華経を信ずる人はせんだんにかをばしさをなえたるがごとし。

(十字御書)

私達の「御親」である御本佛さまは、何時でも何処でもどんな時でも、私達と一緒に生きて、一緒に歩んで下さっています。御本佛さまと同じ「命」を生きている「佛子」としての私達の心の有り様と行動を、常に見護って下さっているのです。

今、私達は俱生神さまと共に、限りある人生を通して御本佛さまの命を生きたいです。そして、今又、新しい年を迎えることが出来たのです。本年も家族一緒にお題目をお唱えし、一人でも多くの方々に「俱生神月守」を勧めて、「よろこび」あふれる世界に向かって歩んでいきましょう。

ただひたすらに大きな声でお題目を唱えて、素直な心で誠実な行いを致しましょう。一心に法華経を信じさえすれば、幸いは必ず万里の遠くから集り、梅檀の良い香りが益々広がるように、大きな功德を頂くこ

本誌イラスト 小川けんいち



砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀  
副住職 阿部 是眞

〒028-0304  
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1  
電話 0198-67-3166  
FAX 0198-67-2227

正立山 妙法寺番神聖徒団

団長 新聞 信應

毎月1日 10時  
盛運祈願祭

お困り事はすぐ相談

神秘秘密の扉が開く時、必ず利益がいただける。

〒690-2404 鳥根県雲南市  
三刀屋町三刀屋1169  
TEL 0854-45-3657  
FAX 0854-45-3666

安房乃國随一 三十番神祈願道場



顕本寺聖徒団  
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」  
〒295-0002  
千葉県南房総市千倉町川合690-1  
TEL 0470-44-1062  
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻  
内陣荘厳具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12  
電話 03 (3843) 6951  
FAX 03 (3843) 6973  
定休日 日曜日

手描絵、機械絵、冊子、  
広告、絵画、写真集、  
神絵、名刺、葉、  
意匠(デザイン)全般

Syoumukou  
株式会社 昇夢虹 (しょうむこう)

〒078-8801 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号  
TEL (0166) 68-2004 FAX (0166) 68-2005  
<http://syoumukou.com>  
info@syoumukou.com